

二二四三番

秋山あきやまに 霜降しもふり覆おほひ 木この葉は散ちり 年としは行ゆくとも
我われ忘れわすれめや

二二四四番

住吉すみのえの 岸きしを田たに墾はり 蒔まきし稻いね かくて刈かるま
で 逢あはぬ君きみかも

二二四五番

大刀たちの後しり 玉纏たままた田居たゐに 何時いつまでか 妹いもを相見あひみず
家恋いへこひ居をらむ

二二四六番

秋あきの田たの 穂ほの上うへに置おける 白露しらつゆの 消けぬべくも
我あは 思おもほゆるかも